

「令和2年度京都府予算編成に関する要望書」を
西脇知事に提出



令和元年度9月補正予算の概要

【第一次補正予算】		7億2,600万円
◆中小企業消費税率引上げ対策支援事業費	3,000万円	
◆商店街等緊急販売促進事業費	1,000万円	
◆京都産業立地促進事業費	5億円	
◆宇治茶価格向上・普及促進事業費	2,700万円	
◆就職氷河期世代正規雇用化促進事業費	1,000万円	
◆「もうひとつの京都」・「とておきの京都」周遊事業費	500万円	
◆京都舞鶴港ブランド強化事業費	200万円	
◆相楽東部地域公共交通再編事業費	1,000万円	
◆京都スタジアム管理費	3,000万円(債務負担行為7億)	
◆子育てにやさしい風土づくり推進事業費	1,200万円	
◆保育所等副食費支援事業費	1,100万円	
【第二次補正予算】台風災害関係		8,500万円
◆被災地(福島県等)への支援	5,500万円	
◆上津屋橋(流れ橋)の復旧	3,000万円	

政務調査活動

よりよい京都府を実現するため、各地を調査、様々な団体との勉強会や意見交換会を行っています。

管外調査(千葉市稲毛海浜公園における公民連携の施設リニューアル整備・運営事業にかかる調査)



A,B同公園検見川地区にて民間事業者が整備・運営するレストランやホール等を調査。多くの自治体が施設の老朽化と維持管理費の面といふ難題に直面するなか、民間活力を導入することで千葉市は毎年、維持管理委託費を減少させるのみならず公園の使用料収入を得ており、公園の維持管理の充実や海辺のにぎわい創出につなげている。

勉強会・意見交換会



■本府私学三団体との意見交換会 少子高齢化の進行や人口減少、時代や社会の要請に応じた新しい教育の推進など本府の私立学校が直面する諸課題について確認し、今後の私立学校教育の振興について意見交換。このほか右記を開催。

■新総合計画についての意見交換会 ■新たな京都の道づくり計画に関する勉強会 ■「あおり運転」にかかる意見交換会 ■本府中北部地域の私立学校との意見交換会 ■京都府歯科医師連盟との意見交換会 ■一般社団法人京都造園建設業協会との意見交換会 ■本府北部地域の建設業五協会との意見交換会

■自民党が提出し、可決された意見書

この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します。 ■私学助成の充実強化等に関する意見書

自民党 府議会報告

9月定例会 vol.66

府議会広報番組

放映予定 (KBS京都)

11月24日(日)

10時30分~11時

再放送 11月29日(金)
深夜 2時30分~3時

総務・警察常任委員会の能勢昌博委員長と石田宗久副委員長が委員会の活動を紹介するほか、わが会派の近藤永太郎団長が自民党議員団の概要を紹介します。

9月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>)で録画中継をご覧ることができます。

子育て環境日本一推進戦略について！ 京都舞鶴港の振興について！ 農林水産業振興について！



○子育て環境日本一推進戦略における現状分析や課題を踏まえ、4つの重点戦略を掲げた知事の思いはどうか、また、どのように府域全体に子育て環境の醸成を図り、府民に浸透させるのか。
○京都舞鶴港の振興に向け、外航クルーズ客船の誘致が進むが、地域への経済波及効果はどうか。クルーズ＆ヘル観光についてどう考えているのか。物流増加に伴うコンテナターミナルの対応はどうか。全国初の浮体式LNG基地、ガスパイプラインの整備や、表層型タンクハイドレートの検討がなされているが、取組方策はどうか。
○水産業の振興には、最も主力である舞鶴市場を国が推進する高度衛生管理型市場として整備すべきだ。ツキノワグマ出没が舞鶴市東部で増えている、レッドデータブックの改訂や緊急捕獲をすべき。

①京都市域を中心とした交通インフラ整備
②外国語によるコミュニケーション能力の育成



①未来への投資としてのインフラ整備をしっかり進め、良好な社会基盤を構築することが、新総合計画で掲げる本府の将来像に向かって大切。度々提案の洛北環状鉄道構想や山城中央環状鉄道構想といった鉄道網による交通インフラ整備具体化の方向性を伺いたい。
②東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博の開催、外国人の新たに在留資格の創設など、日本での生活にも外国語によるコミュニケーション能力が、当たり前に身近な場面で必要になる。外国語によるコミュニケーション能力の育成に関し、所見を伺いたい。

看護職員等配置加算の見直しについて
PTA活動の今後の在り方と負担軽減
府道京都宇治線黄壁管内の排水対策



○障害福祉サービス等報酬が改定されたが、平成22年度から府独自の看護職員の加算等の経費補助の継続と、次期改定に向けて国に対し加算単価の見直しについて積極的な働きかけを。
○PTAは、少子化や就労形態の変化など、これまでの活動の見直しが全国的に議論されているが、府教委としても負担軽減など活動の在り方について検討を。
○JR黄檗駅周辺道路は、雨天時歩道を通行するのも困難な程水はけが悪く、早急に道路改良と排水対策を。

未来を見据えた取組により、活力ある京都の実現、地方創生の実現を!!



○関西文化学術研究都市について
京阪奈丘陵に位置する学研都市は、建設から30年が経過し、140を超える研究施設等や研究者・職員も9千人を上回る程成長した。国は、IT・AI等の最先端技術を活用して未来都市（スマートシティ）の実証を全国で数ヶ所つくる構想を出した。学研都市の研究施設等の集積を活かしてスマートシティに取り組むべき。
○京都産品の海外輸出について
人口減少は消費者の減少を意味し、国内マーケットが縮小する中、海外に販路を拡大すべき。その為には、千年の歴史を持つ「京都」、そこで作られた「京都産」ブランドの確立を強化すべき。腰を据えた海外輸出に取り組む組織を府庁に構築すべき。

府民の小さな声にも耳を傾け、京都府として何ができるのか、どうすれば問題を解決できるのか、知事に問う!!

1. プラスチックごみの削減対策について
(1)京都府の廃棄プラスチックの現状と今後の対策について
(2)海洋プラスチックごみの現状と、その対策と方向性について
2. 「交通事故のない社会」の実現に向けて
(1)高齢者が、安全に運転できる環境整備について
(2)通学路対策の早期実現と、交差点等の危険箇所の見直しを
3. 医療のケア児と慢性疾患を抱える児童への支援について
(1)京都府の支援体制と各市町村の支援体制構築について
4. 地元課題について
(1)阪急京都線長岡天神駅周辺整備における連続立体交差について
(2)向日が丘共生型福祉エリアの児童発達支援センターの充実を



長岡市・乙訓郡能勢昌博

地域のポテンシャルを活かしたまちづくりには、時期・タイミングに合った迅速で柔軟な判断と本府の支援が必要！

新名神高速道路が令和5年度に全線開通し、第二京阪道路との結節点となる八幡京田辺JCT・IC周辺は、近畿のへそとも呼べる高規格幹線道路が整備された好立地で、非常にポテンシャル・魅力の高い地域になると見える。このポテンシャルを最大限に活かした土地利用方策を迅速に進めることで、厳しい財政状況の緩和を考える税源涵養策に取り組むことが可能となる。京都府と各市町村との連携・協調を加速させ、こうした持続可能なまちづくりや行政財政運営に積極的に取り組む市町村に対し、京都府の力強い後押しを求める。



八幡市田島祥充

人口減少社会を乗り切るために、市町村間の広域連携と、即戦力として活躍できる人材の育成を。

- 消防の広域化について 小規模消防本部が2／3を占める中で、消防力を維持向上させ住民の安心を確保するには広域連携を図ることが必要。京都府はその強力なリーダーシップを。
- 府域の水道事業について 水需要減少、熟練技術職員の不足、施設老朽化等の課題を抱える中、広域化・広域連携で全ての人が安心して使い続けられる水道事業を。
- 高校における専門人材の育成について 受験がゴールの教育ではなく、即戦力として実社会で活躍できる、生きる力を養うための教育への転換を。
- 京の道づくり重点プランについて 国への積極的な働きかけで財源を確保し、まちづくりを牽引する夢をつくる道づくりを。



宇治市・久世郡藤山裕紀子

○山陰近畿道の早期全線開通を！ ○医師偏在を早期に解消し、丹後にも常勤医師を安定的に確保すべきだ！

- 災害時の交通輸送手段の確保、観光交流圏の拡充・強化、産業振興と企業誘致、医療搬送路の確保など、北部にとって絶対に必要な山陰近畿自動車道を「遅れたところほど早く、遅れたところほど負担無く」事業を推進し、一日も早く全線開通すべきだ。○人口も開業医も少ない二次医療圏では、慢性的な常勤医師の不足から、公立総合病院に、かかりつけ医の機能まで求められているが、入院治療や救急医療の維持はもとより、病院経営の安定や働き方改革のためにも、府民が実感できるかたちで常勤医師を確保する必要がある。



京丹後市森口亨

○JR向日町駅の東口開設について ○向日町競輪場の今後の運営について ○アーバンスポーツの振興について

向日市磯野勝

地域社会と家族の絆・温かさを再生する！ 風倒木被害の早期復旧と未然防止対策で災害に強いまちづくりを実現しよう。

- 風倒木被害の早期復旧と今後の未然防止対策について 昨年の台風21号による被害発生から1年が経過したが、本府における対策の進捗状況や課題はどうか。国で検討中の重要インフラ施設周辺森林整備は被害の未然防止に有効と考えるが、実施にあたって市町村・森林所有者、施設管理者等が協定締結するものであり、鉄道会社や電力会社等を制度の枠組みに組み込むことが重要なポイントであるため、本府がリーダーシップを發揮すべきと考えるがどうか。
- 公立・公的医療機関等の再編問題について 社会の変化に合わせた医療提供体制の整備が必要と承知しているが、それには住民や関係者の合意を得る努力が大切である。国による公表が強行されたことは遺憾であるが、今回の発表をどのように受け止めておられるのか。



左京区石田宗久

1. 京都府政の推進体制について 2. 災害復旧の状況について 3. 大河ドラマによる地域振興について

- ①度重なる自然災害への対応、働き方改革の推進など大きな課題も抱えながら「新総合計画」を進めなければならないが、本府・振興局の推進体制・職員体制の課題や今後の方向性は、「夢を実現する教育」の実践に向け、教職員が本来業務に専念できる体制づくりを。
- ②平成30年度発生の7月豪雨・8・9月台風災害の復旧事業の進捗状況と対応する技術職員・施工業者の状況も含め今後の見通しは。被災地域住民の不安が一日も早く解消できるよう引き続き努力を。
- ③大河ドラマ「麒麟が来る」を核とした府中北部の観光誘客、地域振興の取組方策は、また、ドラマ終了後効果を持続させるための方策を。福知山市・亀岡市とも大河ドラマ館が設置予定であるが、亀岡市のドラマ館が開設される京都スタジアムの竣工見通しは。



福知山市家元優

皆様の声を府政に届けるため、30名全力で頑張っています!!

私たちに、ご意見・ご要望をお聞かせください。

